

教員についての基本情報

1997年：埼玉大学文化科学研究科修士課程修了

2003年：一橋大学社会学研究科（社会哲学）博士課程単位取得満期退学

2005年：琉球大学教育学部助教授 2015年：同教授



教員名	小屋敷 琢己
担当教科と分野	哲学（西洋近代）・思想史（日本/沖縄近現代）
研究分野	近代ドイツ哲学、近代沖縄思想史、写真メディア論
担当授業	「哲学概説」「哲学史」「哲学特殊講義」「沖縄の環境と社会」 「社会科学要説」など
授業についての一言	
研究室ホームページ	

研究の内容

- ・近代ドイツ哲学、主にヘーゲル哲学（『精神現象学』など）、初期マルクス研究（『経済学・哲学草稿』など）
- ・近代日本/沖縄思想史（特に伊波月城研究）
- ・戦後沖縄思想史及び写真史研究

これまでに研究室で取り組まれた卒業研究の内容

- ・世代間による村落祭祀に関する動機づけの変化についての考察—宮古島西原集落を事例として—
- ・紅型の作り手の意識と制作する図案についての—考察—作り手への聞き取りを中心に—

研究のキーワード

《ドイツ観念論》、《現代唯物論》、《新自由主義批判》
《近代沖縄》思想史、《沖縄経験》、《沖縄写真》

研究室の様子

ゼミは、少人数でやっています。

卒業論文・研究は、本人の関心を軸にしてサポートし、大学生生活の総決算として取り組めるように指導しています。